

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	学校等給食食材購入費支援補助金	開始 年 度	令和4年度
団 体 名	市立学校の校長または園長	団体等 の状況	☐ 課税事業者 ☐ 免税事業者
※対象が個人の場合は ☒ 不要			
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市学校等給食食材購入費支援補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	食材の価格高騰が継続していることを受け、給食費の保護者負担の軽減を図り、市立学校の児童、生徒および園児に栄養バランスの良い給食を提供し、もって児童等の健康増進および食育の推進に資するため、給食の食材購入経費を支援する。
目 的	(目 的) 給食費の保護者負担を増やすことなく市立学校の児童、生徒および園児に栄養バランスの良い給食を提供し、児童等の健康増進および食育を推進する。
・ 効 果	(効 果) 給食費の保護者負担を増やすことなく市立学校の児童、生徒および園児に栄養バランスの良い給食を提供することで児童等の健康増進および食育の推進が図られる。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収 入	R4 (決算)	51,545 [51,545]						51,545 [51,545]
	R5 (決算)	101,311 [101,311]						101,311 [101,311]
	R6 (決算)	135,171 [135,171]						135,171 [135,171]
	R7 (決算)	174,352 [174,352]						174,352 [174,352]
	R8 (予算)	100,628 [100,628]						100,628 [100,628]
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	食材購入費 (継続事業 分)		計
	R4 (決算)					51,545 [51,545]		51,545 [51,545]
	R5 (決算)					101,311 [101,311]		101,311 [101,311]
	R6 (決算)					135,171 [135,171]		135,171 [135,171]
	R7 (決算)					174,352 [174,352]		174,352 [174,352]
	R8 (予算)					100,628 [100,628]		100,628 [100,628]

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	学校等給食食材購入費支援補助金
----------------	-----------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献 する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ <input checkbox"="" checked="" type="checkbox/> </td><td> <input type="/> ☐ ☐	物価高騰の影響による学校給食食材の価格高騰に対処するための補助金であり、文部科学省からも物価高騰による学校給食費の値上げが懸念されるため、保護者負担の軽減に向けた取組を進めるよう通知があった。	
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	補助金を交付しなければ、食材の価格高騰を受け、児童等に栄養バランスの良い給食を提供することが困難となる。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	☐	☒	物価高騰の影響による学校給食食材の価格高騰に対処するための補助金であり、自主性は求められない。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	文部科学省からの通知により、全国的な取組として進められている施策である。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	学校等給食食材購入費支援補助金
----------------	-----------------

○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)
実績報告により、事業内容が補助の目的に合致しているか確認し、効果を測定する。
(達成状況)
給食費の保護者負担を増やすことなく市立学校の児童、生徒および園児に栄養バランスの良い給食を提供することで児童等の健康増進および食育の推進が図られた。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている ☐ 一定の効果をあげている ☒ 効果が疑問である ☐ その他 ☐	

○今後の方向性

☒ 現行のまま補助を継続	(見直しの内容※現行のまま継続の場合もその理由を記載) 給食費の保護者負担を増やすことなく市立学校の児童、生徒および園児に栄養バランスの良い給食を提供することで児童等の健康増進および食育の推進が図られた。 なお、物価高騰が継続している状況で学校給食費を改定することは、子育て世帯の家計費負担増となるため、改定額、改定時期、激変緩和措置について、慎重に判断することが必要。 (見直しの時期)
☐ 見直したうえで補助を継続	
☐ 廃止	
☐ その他	

(廃止の理由)
(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止 ☒ 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
令和 8 年度		令和 8 年度